

## スズキ、「スイフト」「スペーシア カスタム」「 Fronクス」のバンパースタイルが「バイオマーク」に認定



バイオマスポリカーボネート



バイオマスポリカーボネート



バイオマスポリカーボネート



スズキの「スイフト」「スペーシア カスタム」「 Fronクス」に採用しているバンパースタイルが「バイオマーク<sup>※1</sup>」に認定されました。またスズキは、バイオマス製品の普及推進に優れた功績を挙げた取り組みとして、日本バイオマス製品推進協議会より、第14回バイオマス製品普及推進功績賞を受賞しました。

バンパースタイルの樹脂材料はバイオマスポリカーボネート（デュラビオ<sup>※2</sup>）を使用し、植物由来の工業用でんぷんであるイソソルバイドを53%配合した環境に配慮した材料です。さらに高輝度着色材料のため塗装が不要となり、製造時に排出されるCO<sub>2</sub>や大気汚染の原因となるVOCの削減に貢献します。

スズキでは、バイオマス材料の自動車部品への採用を2014年に発売したハスラー（内装カラーパネル）をはじめ採用車種を拡大しました。石油由来の材料を使用した場合と比べ、CO<sub>2</sub>排出量を975t-CO<sub>2</sub>eq/年、VOC排出量を50t/年（2023年11月～2024年10月）削減<sup>※3</sup>しました。また、純正用品として2024年6月にはセルロースを使用したジムニーデザインのマグカップを発売するなど、自動車部品以外にも植物由来材料を積極的に採用しています。

スズキは、車両の走行時に生じる環境負荷だけではなく、ライフサイクル全体での環境負荷低減を進めるために、バイオマス材料の採用を積極的に推進し、人と社会に必要とされる会社を目指します。

※1 バイオマーク

バイオマークは、生物由来の資源（バイオマス）を活用している環境商品の目印です。

※2 DURABIO™（デュラビオ™）

三菱ケミカル株式会社が開発した植物由来のイソソルバイド（イソソルビド）を主原料としたバイオエンジニアリングプラスチックです。一般的な石油由来のポリカーボネート樹脂とは異なる種々特性を有しており、特に耐候性や表面特性等に高い機能を有した、植物由来の透明エンジニアリングプラスチックです。

※3 削減量は、スイフト、スペーシアカスタムのみの数値です。

以上